

トラック2
(キス責め・耳責め)

そう言えば、
ご主人からちゅー、してくれたことってなかったなあ。

(キス1回)

普通私があんなにちゅーしたらお返しにって倍返しするでしょ、このアホご主人。

...やっぱ私のこと、どうでもいいのかなあ。

う...悲しくなってきた。

ぎゅー。

(♪衣擦れ)

心臓の音...。天界の人より、鼓動が早いんだ、人間って。

ご主人が生きててくれればそれだけでいいって、私、そうは思えないんだ。
したいこと、いっぱい出てくるもん、ご主人といると。
ご主人のことも、もっと欲しいよ。

(キス複数回)

もっと色んなとこにちゅーしたい。
服邪魔...脱がせちゃお。

(♪衣擦れ)

ふふ。 ご主人の肌、やっぱり好き...。

...たくさんマーキングすれば、変な虫寄ってこないよね。うん。

こんな綺麗な体が悪いんだ。そうだそうだ。
私のものだって印、たくさん残してあげるね。

(30秒程度、全身にキス、ところどころ吸う感じで)

ふふ、くっきりついた。起きたらびっくりするだろうな～。でも怒られそ
ー....。

...怒ってもいいから。
今ぐらい独占させてよね。

(キス複数回)

はあ...羽が重い！ 邪魔一...。

...ねえご主人。
もしかして、私が人間じゃないから、そういう対象として見れないの？
やっぱり人間じゃないとダメ？

私は、天界の人たちに咎められても、ご主人となら...。

...ってダメよね、こんなこと考えちゃ。
こうしてるだけでも、十分だって思わなきゃなのに。

...やっぱり、私がわがままばっかり言うからかな。
いつもわがまま言って、ごめんね。

(キス複数回)

ご主人って、耳弱いのかなあ。
ちょっかい出すといつも怒るけど、本当はすごく感じやすいの...？

...寝てる間だけなら、いい...よね？

(♪衣擦れ)

なんか、いざ攻めるってなるとドキドキする...。

美味しそうな耳...。 はむ。

(以降、右耳舐め、セリフ挟みながら数分)

ん...今ピクって動いた。 寝てても感じるのかな？

もっとしちゃお...。

甘噛みしたら、もっとビクビクするかな...。ん...。

ん...？ 起きてない...よね...？

寝てても声出るんだ...ご主人のかわいい声初めて聞いた。

こんな声出すんだ...もっと聞きたいな...。

左耳もしたら、流石に起きちゃうかな？

(♪衣擦れ、左耳に移動)

それじゃあこっちも...。あむ。

(左耳舐め、台詞挟みながら数分)

こうして耳の穴の中に舌入れてクチュクチュしてると、

ご主人のこと犯してるみたいで、

ちょっとゾクゾクしてくる...。

もっと、奥まで...。

ふふ。 またビクってした。

寝ながら気持ちよくなるご主人、かわいいなー...。

(♪衣擦れ、耳舐め終了)

あは、ご主人の耳、私の唾液でベチャベチャになっちゃった。

この濡れたとこに息ふきかけたら、気持ちいかな...？

ふー。 (右耳に息ふきかけ)

もぞもぞしてる...気持ちいいんだなー？

じゃあこっちも...。

ふー。

(左耳に息ふきかけ)

ふふ、くすぐったそー....。

ん！

...あれ、ご主人...勃ってる...？

え、うそ、...私のキスで、本当に気持ちよくなってたってこと...？

うわ、なにそれ、すごく嬉しいんだけどご主人...。

はー...っ

ご主人のこと責めてたら、私までムラムラしてきた...。

おかしいな、

こんな風になること、天使なら普通ないんだけどな。

ご主人といふると、発情した動物みたいになっちゃうのはなんでだろ...。

ご主人、夢の中で私とえっちしてたらいいなあ...。

う...、もう我慢できない...。

(♪衣擦れ)

私、ご主人の上でオナニーします。

変態なことするくにかのこと...許してください。